

国臨協関信支部

## 東京・山梨地区会 広報誌

東京医療センター

国立成育医療研究センター

国立国際医療研究センター病院

甲府病院

村山医療センター

- ・ **今年度、東京・山梨地区会に入会された方々、また各施設の会員の近況をご紹介します。**  
**交流できない日々ですが、皆さんとても元気です。**

発行日：令和3年2月8日

# 東京医療センター

## 細菌検査室



### 《名前》

富樫 瑞輝      石澤 栞      加藤 維斗      須江 悠人      外川 靖士

### 《転入・新規者紹介》

富樫 瑞輝      千葉の下志津病院から来ました。早く都会に慣れるよう頑張ります。

## 血液管理室



### 《名前》

藤井 勇樹

長島 恵子

佐藤 麻美

### 《転入・新規者紹介》

佐藤麻美

4月より常勤職員として採用になりました。日々のルーチン業務で精一杯ですが、少しずつできることを増やせるように努力していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

## 病理検査室



菅原 瑞穂      吉沢 咲恵      小玉 千尋      御園生 圭太      山本 伸晃  
西崎 麗華      池田 美穂子      大内 結衣

### 《名前》

### 《転入・新規者紹介》

- 池田 美穂子      4月1日付で東京病院から異動になりました。2度目の東京医療センターとなり不安と驚きで戸惑いました。今まで以上に精進していきたいと思えます。これからもよろしくお願い致します。
- 小玉 千尋      4月1日にがんセンター東病院より来ました。病理検査部門を担当しています。新型コロナで大変な時ですが自身の仕事に邁進していきます。よろしくお願い致します。
- 西崎 麗華      4月1日から新卒で入職しました。栃木県立衛生福祉大学校を卒業し、この度病理検査室に配属となりました。1日でも早く仕事を覚え、皆さんのお役に立てるよう精一杯頑張ります。よろしくお願い致します。

## 生理検査室



### 《名前》

内田 綾香      石川 明子      片桐 理絵      橋本 未来  
折山 彩香      舟山 響貴      神 ツギノ      橋本 茂樹

### 《転入・新規者紹介》

- 片桐 理絵      4月1日付けで災害医療センターより参りました片桐理絵です。ISO認定施設での勤務は初めてのため戸惑うこともありますが、周囲に助けられながら働いています。よろしくお願いいたします。
- 長崎 久美子      4月にがんセンター中央病院より異動になり、現在は生理検査室で働かせていただいています。前の病院とは、病院の性質が大きく異なるため、日々学ぶことばかりです。これからもよろしくお願いいたします。
- 橋本 未来      昨年11月に成育医療センターから異動してきました橋本未来です。生理検査部門を担当しています。よろしくお願いいたします
- 折山 彩香      今年の4月に入職した折山彩香です。以前は巡回検診をしていました。何卒よろしくお願いいたします。
- 舟山 響貴      検査技師1年目の舟山響貴です。よろしくお願いいたします。

## 検体検査室



### 《名前》

五十嵐 和也 増田 佑亮 根岸 史知 手塚 好之 石川 政志 竹内 智也  
里部 美咲 藤澤 優希 岡本 桃子 中村 恭子 上柿 涼子

### 《転入・新規者紹介》

- 竹内 智也 4月に久里浜医療センターから配置換えになりました。コロナ渦で目立った地区会活動ができない状況が残念ではありますが、少しでも盛り上げていきたいと思っております。よろしくお願ひします。
- 石川 政志 4月に千葉東病院から昇任で参りました。微力ながら、東京・山梨地区会の活動を盛り上げていければと思っております。顔合わせできる日が来た際には、どうぞ宜しくお願ひ致します。
- 根岸 史知 4月より水戸医療センターから配置換えとなりました。地区会活動にも積極的に関わっていきたくと思っております。よろしくお願ひします。
- 上柿 涼子 4月に、がん研究センター中央病院より異動して参りました。今後の地区会活動を少しでも盛り上げて行ければと思っております。よろしくお願ひします。
- 里部 美咲 4月に南和歌山医療センターから転任しました。名字が稀少らしいので、日本のどこかに仲間がいないかなあと思っております。
- 五十嵐 和也 2年間沼田病院で非常勤をしていて4月から常勤採用になりました。名字の読み方は“いがらし”ではなく“いからし”なので覚えていただけるとうれしです。
- 手塚 好之 4月より新規入職となりました。今まで培った経験を活かし、地区会活動に全身全霊をかけて盛り上げていきたいと思っております。本年度地区会会計を担当させていただいております。



# 国立成育医療研究センター



## 《施設紹介》

当検査部は、臨床検査部 31 名（非常勤 3 名、看護師 2 名含む）、SRL ブランチ職員 18 名、計 49 名で業務に取り組んでいます。外来採血室も検査部管理となっており、生後まもないベビー採血も検査技師が行っています。夏休み冬休みシーズンには学童患者が多くなり、採血室にあばれる君が多数やってきます。新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言によって、外来患者数が激減した時期もありましたが、現在は戻りつつあります。



新型コロナウイルス検査については、FilmArray を導入し 24 時間体制で検査部が対応に当たっています。その他、高度感染症検査室で PCR 検査を日に 1 回測定、さらに SRL 外部委託の 3 本立てで対応しています。3 方法の使い分けについては、新型コロナウイルス検査が必要となった場合、必ず感染症科医師が介入し検査方法のトライアージを行い、電子カルテ依頼をしたのち、検査部に検体が提出される運用になっています。

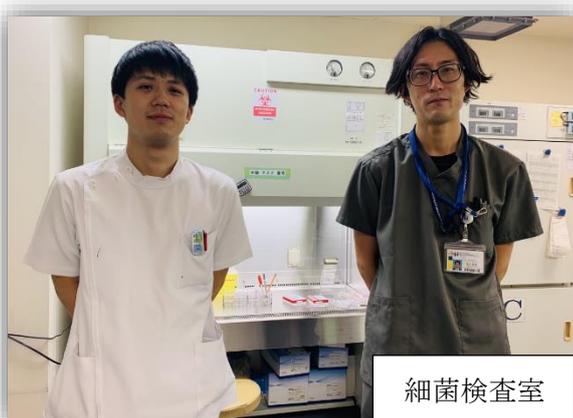
当番者全員が FilmArray 対応できるよう、約 1 か月をかけ検査部内で教育を行いました。冒頭で紹介したように当検査部はブランチであるため、PCR 検査に携わった経験がある職員はほぼいなく、手指消毒、ガウンの着脱方法をはじめ PCR 実施に伴う手技の教育を行い、検査部による 24 時間体制を開始しました。現在まで問題なく稼働しています。



病理検査室



輸血細胞療法室



細菌検査室



生理検査室

## 《新人紹介》



成育医療研究センターで生理機能検査を担当しております関口和也と申します。

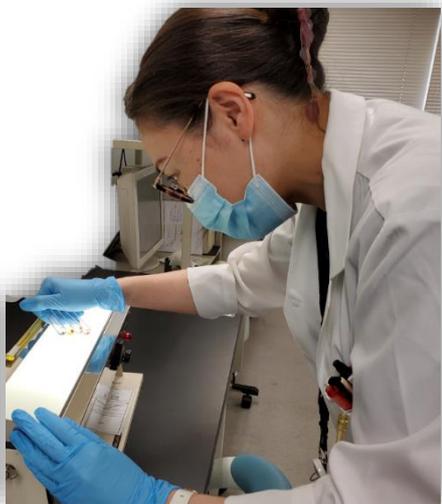
この度、東京山梨地区の一員としてお世話になります。コロナ禍の状況で皆様におかれましても、日常生活をはじめ日常業務でも多くの場面で規制による制限が生じ、面倒やストレスあるかと思います。

未だコロナ終息のめどもたつてはいない状況ですが、一日でも早く終息することを祈るとともに、コロナ終息後の各種集会等でお会いする機会を楽しみにしています。最期に、このような状況の中で紹介の場を設けていただいたことに感謝いたします。

今後ともよろしくお願いいたします。

昨年4月より国立成育医療研究センターの生理検査部門に非常勤職員として入職させていただきました濱田雄暉と申します。今年度の振り返りと、今後の抱負を書かせていただきます。

当初は与えられた業務が務まるか不安がありましたが、無事検査を終えて、患者さんが笑顔で帰っていく瞬間にとってもやりがいを感じています。先輩方に指導していただき担当することができる業務が増えましたが、もっとできることを増やしていきたいと思えます。今後は指導していただくだけでなく、足りない知識を自主的に補っていくことや資格の取得に力を注いでいけたらと思えます。まだまだ未熟ですが、これからも邁進いたしますのでよろしくお願いいたします。



はじめまして。

成育医療研究センター臨床検査部の鈴木良枝です。

新入職の挨拶を、ということですが、入職をしてからすでに1年以上が過ぎました。当初は十数年ぶりに新人になる不安もありましたが、成育の皆様には温かく見守っていただき、助けていただきながら毎日楽しく仕事をしています。

2021年、六白金星の私は『欲を出さず、おごらず、怠けないこと。口を謹んで冷静な判断をすることで現状維持。』だそうです。

こんなに頑張っても現状維持…!?

今後、どこかでお会いする機会もあると思えますので、その際はご指導のほどよろしくお願いいたします。

はじめまして。

新人会員の挨拶ということですが、ここ5年間で5施設と異動が多く、毎年のように新入職員となっており、ある意味ではベテラン新入職員の成育医療研究センター臨床検査部 池上陽太です。よろしくお願いします。

成育では、日々パワフルな子供たちと接し、翻弄されながらもパワーをもらい、毎日全力で楽しく仕事をしています。子供たちの笑顔のために日々考え、日々修行中です。

また、各種研修会等でお会いする機会を楽しみにしております。今後とも皆様のご指導よろしくお願いいたします。



2019年9月1日より成育医療研究センター病理診断部でお世話になっております大越卓と申します。

見た目のフレッシュ感は無ですが、気持ちだけはいつも若くありたいと思っています。

卒後は地元の市立病院と都内の大学病院にて、一貫して病理検査業務に従事してきました。細胞診では口腔と唾液腺が得意だと勝手に思い込んでいます。成育でも所属としては病理診断部ですが、検査部の日当直や採血業務にも入っています。そのため、検査部での夜中の一人ぼっちは極めて不安な状態であり、ひたすら夜が明けるのを待つ窓を見つめています。

コロナも収まった頃には皆様とお会いできることを楽しみにしております。よろしくお願いいたします。



外来採血室

～採血をがんばった子供たちへのプレゼント～  
全て採血室スタッフの手作りです。



# 国立国際医療研究センター病院

## 臨床検査技師長・副技師長



### COVID-19 への当院の取り組み

<田中 暁人 副臨床検査技師長>

国難とも言うべき新型コロナウイルス感染症（COVID-19）発生により、2020年明けより中国武漢からの帰還者検診、クルーズ船対応、COVID-19陽性患者の診療など、感染症をミッションとする国立国際医療研究センター病院は、特定感染症指定医療機関となっております。その使命を果たすべく現在、50名以上のCOVID-19陽性患者が入院しており、全職員一丸となってCOVID-19感染防止対策の徹底を図っております。

当中央検査部門でもこれまで、多くのミッションに対応してきました。微生物検査室では3月から院内検査でPCR検査を開始し、現在では入院前や手術前患者などのPCR検査を月に1,800件以上の検査を実施しております。また、新宿区の要請を受け当院敷地内に新宿区新型コロナスポットが開設され、3ヶ月間に渡り検査技師が鼻咽頭からの検体採取を行いました。その後、院内でも検体採取は検査技師に任せいただけるようになり、これまで16,000件以上の検体採取を行っております。それ以外にも、回復者血漿や職員抗体研究、PCR装置の性能評価、重症化予測因子など多くの臨床研究にも参画しております。

まだ感染収束がなかなか見通せず厳しい毎日が続いておりますが、国立国際医療研究センター病院のスタッフとして、これからもその役割を果たしていきたいと思っております。

## 生化学・免疫検査室



### 生化学・免疫検査室での1年目

国立国際医療研究センター病院に勤めている富永健翔です。昨年の3月に専門学校を卒業し、4月から国立国際医療研究センター病院の生化学・免疫検査室に非常勤臨床検査技師として勤務しています。出身地は埼玉県東松山市で片道2時間かけて通っています。初めは右も左も分からなかった自分に主任を始め先輩技師の方々から、優しく丁寧に検査に関する知識を教えて頂いています。

現在は検体検査の受付、採血業務、測定機器のメンテナンスや精度管理、データの見方など初めて行う業務に苦戦しながら一生懸命努めています。今はまだ当直業務は行っていませんが、いつからでも行える様に準備をしておきたいです。

今後は二級検査士等の資格取得を目指し、知識や技術を更に高めながら日々研鑽を重ねていきたいと思っています。

## 血液・一般検査室



当院の血液・一般検査室では、現在8名の技師が働いています。

血液検査室では、血算、血液像、フローサイトメトリー検査、骨髓像、赤血球沈降速度、マラリア検査、出血時間、凝固検査、クロスミキシング検査、血小板凝集能検査、Ⅷ因子検査、Ⅸ因子検査を検査しています。その他にも様々な臨床研究に取り組んでいます。

一般検査室では、尿定性、尿沈渣、穿刺液、リコール、妊娠反応、尿中薬物検査、寄生虫検査、便潜血検査、脂肪便検査を検査しています。国際感染症センターやエイズ治療・研究開発センターから寄生虫検査の依頼があり、他院では経験できないような症例を経験することができます。

### 新入職員の意気込み

<井関 理紗>

血液像のトレーニングが終了し、独り立ちしてまだわずかしか経っておらず、まだまだこなせる枚数は決して

多くはありません。ですが、少しでも早く先輩方のレベルに到達できるよう努力していきたいと思っています。  
<島田 和幸>

働き始めてから一年も満たない新米ですが、様々な知識や技術を教えて下さる先輩方に感謝の気持ちでいっぱいです。おかげさまで、今年は細胞検査士資格試験にも合格することができました。尿沈渣も独り立ちし、仕事の幅も増えてきたので、少しでも早く先輩方の期待に応えられるよう精進して参りたいと思います。

## 治験管理室



当院の治験管理室は臨床研究センター 臨床研究推進部に所属し、看護師、薬剤師、臨床検査技師、SMO（治験施設支援機関）スタッフ、事務局の総勢約40名で運営されています。

日々、治験が適切かつ安全に実際できるように、患者さんや医師のサポートを行っています。

治験管理室の臨床検査技師は2名で、治験管理室で実施しているすべての治験検体の準備、検体処理、検体保管、検体発送を行い、さらに臨床研究コーディネーター（CRC）としても患者さんや医師のサポートを行っています。

治験管理室もコロナの影響を大きく受け、コロナ関連の治験を現在までに10課題以上実施しています。当初、準備期間がほとんどない中、患者さんが立て続けに治験へ参加していく状況であったため、夜間、休日関係なく対応する日々でした。

治験検体は処理までの時間や保管温度等の条件が細かく定められており、それぞれの治験で条件が異なるため、日々緊張の中で

検体を扱っていますが、さまざまな思いで治験に参加して下さっている患者さんの事を思うと、より一層気を引き締めて扱わなければならないと感じています。

## 輸血検査室



3次救急を担う当院は、大量出血症例に遭遇することも珍しくありません。

日中・夜間問わず運び込まれてくる患者さんの輸血に迅速に対応できるよう、緊急輸血のトレーニングに力を入れています。またクリオプレシピテートの保険

適応に伴い、当院でも同種クリオプレシピテートの作製を開始しました。救急科において大量出血症例に使用しています。

1月より、新人の五十嵐技師を迎え、4名体制で対応しています。

## 外来採血室



### 外来採血室としての COVID-19 対策について

国際医療研究センター病院の採血室では昨今の新型コロナウイルス状況を鑑み、新たに感染対策を実施いたしておりますのでそちらをご紹介します。

当該病院では、正面玄関で来院時の体温測定をサーモグラフィーで実施しておりますが、採血室として①3密を避ける②接触感染予防の観点から内待合の待機患者数を5人から1人とし、採血毎にペーパータオルを枕に巻き、椅子のアルコール消毒を実施しております。今後も COVID-19 にかかわらず感染対策を行って行きたいと思いますが、他施設での対策などの情報共有も図っていきたくと考えております。

## 微生物検査室

微生物検査室は2020年4月から黒川主任が着任し、5月に産休に入った金原主任の代わりに宇佐見技師が着任しました。現在8名体制で新型コロナ PCR をはじめとする微生物検査を行っています。



### 自己紹介文

<黒川 正美 主任>

4月より NCGM に入職した黒川と申します。検査センター及び公的病院を約20数年経験してまいりました。現在まで、生理、輸血、微生物を担当してきましたが、専門分野は微生物です。今までの経験を最大限生かし、後

輩を指導しつつ、自らも新しいことを学んでいきたいと思っております。微力ではございますが、よろしくお願い申し上げます。

<宇佐見 彩香>

はじめまして、新人検査技師の宇佐見彩香と申します。細菌検査を担当しており、今は釣菌のトレーニングを行っています。わからないことばかりで知識不足を痛感する日々ですが、教えて頂いたことを沢山吸収して、早く検査室の力になれるよう頑張りたいと思います。出身は東京で、生まれも育ちも浅草です。趣味は寝る事、旅行、観劇、漫画など多趣味です。いつか1人で海外旅行を試してみたいと思っています。ご迷惑をお掛けすることもあると思いますが、精一杯頑張るのでどうぞよろしくお願いいたします。

## 病理検査室



本年度より国立国際医療研究センター病院、病理検査室に勤めている江畑利奈と申します。大学を卒業後、細胞検査士養成所に進学し、その後2年間は神奈川県の小児専門医療機関で主に分子病理学的検査やNGS(次世代シーケンサー)を用いたゲノム検査に携わっていました。繊細な検査を担当していた私ですが、趣味でも少し細かい作業をしています。紙にペンで点を打っていく「点描画」です。主に昆虫や動植物を描いています。時間と少しの筋力を要するため、おうち時間にもおすすめです。

当院の病理検査室は臨床検査技師8名体制で運営されています。組織診(生検および手術材料の標本作製、術中迅速診断、病理解剖)や細胞診(標本作製、スクリーニング、術中迅速診断)を主な業務としております。これまでは標本作製後の検査に携わっていましたが、これからは標本を作製する側になります。病理検査業務未経験で日々奮闘中ですが、がんゲノム医療が進んでいく中で、双方の経験が活かせるように精進して参ります。

振り返れば昨年4月、コロナ禍の渦中での入職で不安もありましたが、あたたかく迎えてくれた職場の皆さまには心から感謝しております。あれからまもなく一年が経とうとしています。薄切ができるようになるのかと心配だった私もルーチン業務をこなせるまでになりました。未だ終息の目処が立たない新型コロナウイルス感染症も海外ではワクチンが普及しはじめています。行動が制限される中でもさまざまな変化があります。

日々の変化を楽しみながら、医療従事者として、患者さんの安心に繋がる医療が提供できるように努めていきます。

## 生理検査室

生理検査室には現在、事務員を含め 20 名が在籍しております。  
当検査室では、人間ドックセンター業務を含めた日常業務を担当している他、2018 年 10 月より救命救急センターでの当直業務を開始しました。救命救急センターでは、日常業務で経験できない超音波症例や胸骨圧迫などの多岐にわたる業務に携わっており、刺激的な夜を過ごしています。

また、新型コロナウイルスの影響により、救急外来での迅速 PCR 検査や検体採取の件数が非常に多くなっています。患者さんの病気を早期に発見できるよう、各種検査技術・知識の向上を目指して、各学会主催の Web 講習会等へ積極的に参加しており、8 割のスタッフが専門資格を有しています。さらに、習得した技術・知識を共有するため、部門内で定期的な勉強会を開催し、全要員が自己の研鑽に努めております。



## 新人紹介

<田巻 広大>

私は大学を卒業後、9 ヶ月間国立がん研究センター東病院の血液一般部門で勤務し、検体や検査データの取り扱いや毎日行う精度管理、血液像、尿沈渣の読み方などを丁寧に教えていただきました。

今年 1 月より国立国際医療研究センター病院 中央検査部門 生理機能検査室へ配属採用となりました。検査対象が「検体」から「患者」に変わり、上手く関わっていくことが出来るか自信がありませんでしたが、患者さんより「ありがとう」と言ってもらえると、やりがいを感じます。

これから多くの検査を担当できるよう、真摯に日々の業務に邁進していきたいと思っております。

# 甲府病院

## 近況報告

当院は甲府市の北部、市内を一望できる閑静な場所にあります。北は八ヶ岳、西は南アルプス、南は富士山と四方を山に囲まれた、自然豊かな土地です。近隣には戦国武将・武田信玄ゆかりの武田神社や、更に北へ向かうと昇仙峡などの景勝地があります。

現在、研究検査科では9名で日々の業務を行なっています。

COVID-19の感染拡大が心配される中、当院でも昨年6月にPCR検査機器が導入されました。全ての入院予定患者に対して実施しており、検体採取は看護部と曜日を分担して行なっております。今年に入ってから委託職員を含む全職員を対象として、PCR検査を実施することとなり、院内感染防止の助けとなっております。

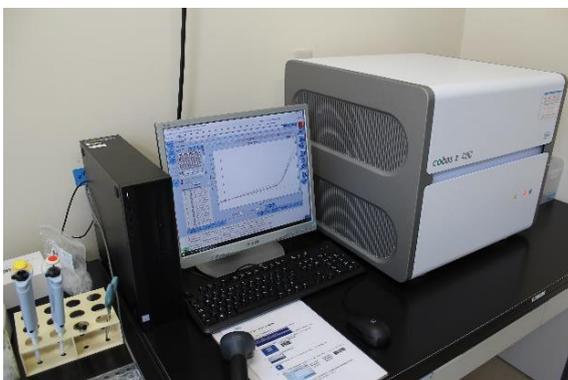
また、検査科内では、採血室および生理検査室に、仕切りとしてビニールシートを設置しました。肺機能検査室には昨年12月よりクリーンパーティションが導入され、これまで以上に感染防止対策に努めています。



病院外観



採血室



PCR 検査機器



クリーンパーティション

## 会員紹介（敬称略）



北沢敏男：技師長

こんにちは！

甲府病院 3 年目の北沢です。

音楽鑑賞（Rock）が趣味ですが、  
甲府に来てから、山梨/静岡のドライブを  
楽しみながら景色を写真に収めています。

熊谷 豊：副技師長

こんにちは！

甲府病院 3 年目の熊谷です。

インターネットで釣り具を買いすぎたのが、  
嫁にばれてだいふ怒られてしまいました。

その為、任天堂 switch が購入できず、  
新しいモンハンが出来そうにもありません。

いい方法ありませんかね。



木津谷亮：主任

木津谷 亮です。

後厄まで無事に乗り切りました。

今年も頑張ります。

福富健司：主任

昨年、鎖骨骨折をして人生初の全身  
麻酔下での手術を経験しました。  
看護師さんは天使でした。



山口理香：検体検査担当

「こそあど言葉」と「オノマトペ」で会話が  
成り立つお年頃。

「わけえしんとうこれはめためたごっちょ  
でございす」…ただの方言だ (\*\*;)。

中村麻友美：細菌検査担当

中村麻友美です。外出自粛に伴い好きな  
アウトドアができずにいますが、  
最近は毎日のようにレゴブロックで働  
く車や船を作っています。  
さらに機能的でカッコいいモノを作り  
たいです！





秋山斐香：生理検査担当

各地に旅行して見分を広めるのが好きです。以前は休暇に海外へ行くこともありましたが、この情勢下で県外へ出ることもままならず、輪をかけて引きこもりになりました。

林 愛理：病理検査担当

臨床検査技師3年目の林です。  
猫が好きで、愛猫1匹と二人暮らしをしています。毎日とても癒されています。



北澤里奈：生理検査担当

新人の北澤です。  
最近、キャンプ動画にはまっています。いてもたってもいられず、休日に、家の庭で焚き火をし、紙皿に夕飯をよそい、ソロキャンプ気分を味わいました。

# 村山医療センター

## ◎ 村山医療センターってどこにあるの？

NHO 村山医療センターは、東京で唯一鉄道が通っていない武蔵村山市にあります。病院行きのバスは1時間に1本。ここは本当に東京・・・なの？モノレールの延長計画が早く進んでほしいと思いながら生活する今日この頃です。

当院は、骨運動機能の専門医療施設であり、整形外科の患者数がとても多い病院です。整形外科の中でも、主に腰部脊柱管狭窄症・腰椎椎間板ヘルニア・頰椎症性脊髄症・腰椎すべり症などの脊椎疾患の患者さんを多数受け入れています。患者さんの半数以上は手術を目的としており、脊椎脊髄手術を年間約1200件行っています。脊椎側弯症や脊椎カリエスといった一般病院では困難な治療も積極的に行っています。

令和元年度の経常収支率は105.8%で、関信グループ2位、全国5位でした。黒字経営が続いたおかげか、2019年3月に新病棟が完成しました。しかしながら、臨床検査科のある外来棟は老朽化が進み、雨漏りや壊れて閉まらない窓をよく目にします。早く建設計画進んでほしいなあ。



↑ 歴史を感じる正面玄関

## ◎ 検査科の日常と近況報告

当検査科の特徴として、関信支部学会でも発表させていただきました通り術中モニタリングを行っていることが挙げられます。新型コロナウイルスの影響で患者数は減少していましたが徐々に戻りつつあり、モニタリング件数は多い日で1日5件を超え、充実した毎日を送っています。村山医療センターは、会員9名と少ない人数で日々業務を行う中、術中モニタリングで2人減り、生理検査で2人減り、外来へ1人行き、、、「あれ？気づいたら検体フロアに誰もいない！」ということもしばしば。そのようなときに限って各方面から問い合わせの電話が沢山鳴り、フロアの端からバタバタと電話を取りに走り回ります。

その中でも、竹田副技師長の先を見通した的確な指示や生理検査では中尾主任の患者さんの受け答えや検体検査では関主任の臨床への対応などがとても勉強になっています。もちろん内田主任や中野主任にも大変お世話になっていますがあまりに多くて書ききれません(笑)そんな日常ですが、穏やかな佐藤技師長のもと和気あいあいと楽しく毎日を送っています。

## ◎ 会員紹介

少数部隊の村山チームを紹介させていただきます。



## ◎ 異動者よりひとこと

今年度、東京山梨地区会に異動となりました、2名を紹介させていただきます。

竹田 信邦

東京山梨地区の皆様、初めまして昨年4月に東京病院より転勤してまいりました竹田と申します。昨年は転勤早々コロナ渦に巻き込まれ会議も無く皆さんマスクをしているので顔は解らず非常に不安でしたが、事務部長や理学療法士長や薬剤師等顔見知りの方々が多くいたので早い段階から居心地の良い思いをさせて頂いております。

検査科に目を向ければ嘗てご一緒させて頂いた主任さんが4人もいてなんだかとても初めてとは思えない施設です。

昨年は何かと新しい物事に取り組みなければいけない年でした。テレワークやテレカン



ファ等、離れた場所で共同作業する機会が増え、逆に集合型の研修会などが減りました。

しかし、こんな時だからこそして地区の活動を絶やさぬようご尽力いただいている理事各位に感謝いたします。

たとえ飲み会の機会が減ろうとも酒量が減るワタクシでは無く今年も「全部焼酎、酒の呼吸！！」で頑張りたいと思いますので皆様よろしく願いいたします。

鹿毛 亮佑

令和2年7月1日付で相模原病院より村山医療センターへ配置替えとなりました鹿毛（かげ）亮佑と申します。6年ほど前に非常勤職員として1年間村山医療センターでお世話になっておりました。相模原病院では主にLTE4（ロイコトリエンE4）という脂質メディエーターの測定を行っておりました。技師になってからは数年経ちますが、検査技師としての知識は乏しくほぼ新人みたいなため日々奮闘しています。

私は、野球観戦（埼玉西武ライオンズのファン）・旅行・ディズニーが好きで、気分転換をかねてよく行ったりしています。最近では新型コロナウイルスの影響で行けていませんが、落ち着いたら思いっきり楽しみたいと思っています。術中モニタリングなど特殊な業務もあり、覚えなくてはならないことは沢山ありますが、病院・検査科のために努力していく所存です。至らない点も多々あるとは思いますが、東京・山梨地区会の皆様にもご指導ご鞭撻の程よろしく願い致します。



## 【緊急企画】お気に入りの1枚を教えてください！

最近、写真を撮りましたか？このご時世ですので、旅行にも外食にも行かなくなりました。撮影の機会が減ってきているのではないのでしょうか。

それでも心動かされる瞬間はあるはず！誰かに見せたいと思ったものがあるはず！もう一度したい〇〇！、、、写真の種類は問わず募集しましたところ、たくさんの写真が集まりましたので写真とコメントを一言添えて一覧を作成しました。「インスタ映え」でしょうか。



「【2代目】フェアレディ Z : S130 型 (1978~1983 年)」

展示車がありましたので思わずシャッターを押しました。Z 好きにはたまりません。



「趣味を増やす」  
ピアノ、始めました。



「密ですから」  
ライブは全て延期の一年。



「茜色の下灘駅」

海が非常に近く、用事なくても思わず途中下車したくなってしまいう媛県にある駅。青春 18 きっぷのポスターにもなっています。



「鬼滅の刃の聖地景信山」

東京都八王子市にある景信山。アニメ人気で訪れる人が増えているそうです。関東平野が一望でき、幻想的な山です。



「久しぶりの実家帰省」

歓迎してくれるのは物憂げな猫だけ。



「料理するか」

外食できないなら作ってしまおうと思いついた、クリームパスタ。



「バッテリー上がり対策」

StayHomeの影響で車に乗らない日が続いたため、久しぶりにドライブを。